

式 辞

春の温かさが感じられる今日の佳き日に、御来賓の皆様、入学生の保護者の皆様の御臨席を賜り、令和五年度愛媛県立八幡浜高等学校入学式を執り行うことができますことは、私たち教職員にとりまして大きな喜びであります。

先ほど、入学を許可いたしました百八十六名の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんはただ今をもって、本校の生徒となりました。

本校は、八西地域の中核校として、これまで多くの人材を社会に送り出してきました。この学び舎を巣立った卒業生は、三万八千二百二十六人にのぼり、同窓生は国内外で活躍されています。

また、昭和三十四年に定められた五綱領、勉学、礼儀、健康、融和、奉仕の下、主体的に行動する生徒の育成を目

指して日々の教育活動に取り組んでいます。

皆さんが中学校に入学した令和二年に、新型コロナウイルス感染症が国内で初めて確認されました。それから四年が経過した現在でも、その影響は随所に見受けられます。

ただし、感染症の分類が二類から五類に移行する五月八日以降は、徐々に以前の状態に戻っていくことが予想されます。本校では、それらのことも踏まえつつ、皆さんの健康と安全を第一に考え、学校の教育活動を行っていきます。

今、社会は流動的で、将来の予測が困難な状況に陥っています。以前であれば、当たり前と思っていた価値観が変容したり、AIや情報技術の進歩によって、社会の仕組みや生活の在り方までも変化したりしています。

そういった変化が激しく、多様な価値観が存在する社会を生き抜いていくためには、自ら考え、主体的に行動する意欲や態度を育む必要があります。そのためには、日々の

生活の中で、基礎的な知識や技能を身に付けることが大切です。もちろん、それらを学ぶ場は、学校だけとは限りません。家庭や地域でも、学ぶことはたくさんあります。

そして、いろいろな人と出会ったり、様々な経験を積み重ねたりしていく中で、自分自身の人間性や社会性が磨かれます。その先に、皆さんの自己実現や進路実現があるのだと思います。私たち教職員は、皆さんの思いえがく夢や願いがかなうようサポートしていきます。

保護者の皆様、お子様の御入学、誠におめでとうございます。高校の制服に身を包んだ我が子の姿を見られて、さぞかし感無量のことと思われます。これから本校で過ごす三年間は、お子様だけでなく、保護者の皆さまにとっても大切な期間になります。お子様の更なる成長と自律を目指して、学校と家庭が手を取り合って進んでまいりたいと思います。つきましては、本校の教育方針を御理解いただき

ますとともに、学校の教育活動への御支援と御協力をお願いいたします。

最後に、新入生の皆さんが、本校で充実した高校生活を送られることを祈念いたしまして式辞といたします。

令和五年四月十一日

愛媛県立八幡浜高等学校 校長 上田 正弘